



2023年9月22日

各 位

会 社 名 株式会社ダイレクトマーケティングミックス
代表者名 代表執行役社長 C E O 小 林 祐 樹
(コード番号：7354 東証プライム)
問 合 せ 先 執 行 役 C F O 土 井 元 良
(TEL 06-6809-1615)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期連結業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正し、一旦、未定とさせていただきますことといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的1 株当たり 当期利益
前回発表予想（A）	36,000	5,800	5,760	3,770	3,770	81.24
今回修正予想（B）	—	—	—	—	—	—
増減額（B－A）	—	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2022年12月期通期）	34,674	5,771	5,731	3,803	3,803	85.09

（修正の理由）

2023年12月期の連結業績につきましては、当社の成長を牽引する主力のアウトバウンドビジネスは引き続き堅調に推移しているものの、国内の新型コロナウイルスワクチン接種関連の需要が大きく縮小したことによりインバウンドビジネス全体の競争が激化し、当社の収益性に大きな影響を及ぼす結果となり、売上収益及び各段階利益も想定以上に減少する見込みとなっております。加えて、2023年7月18日付の当社適時開示「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の連結子会社において一部の顧客企業に対する請求額が過大となっている疑義が判明し、今後、特別調査委員会の調査費用や、弁護士・会計士等に対する外部アドバイザー費用等といった各種費用の増加が見込まれることから、2023年2月14日に公表しております2023年12月期の通期連結業績予想に対して乖離が発生することが予想されます。

しかしながら、特別調査委員会による調査は現時点で進行中であり、本件による2023年12月期通期連結業績への影響額について現時点で算出、予測することが困難であることから、今回修正予想において、売上収益、各段階利益並びに基本的1株当たり当期利益は、一旦、未定とさせていただきますことといたしました。今後、これらの状況が明らかとなり、業績予想が策定可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2023年2月14日発表)	0.00	18.00	18.00
今回修正予想		—	—
当期実績	0.00		
前期実績 (2022年12月期)	0.00	17.00	17.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、今後の事業展開と財務体質の強化のため必要な内部留保を確保しつつ、総還元性向40%を目指していく考えです。剰余金の配当においては内部留保金と剰余金の水準を総合的に勘案し、EPSの成長に応じて配当金額を算出することを基本方針としております。

しかしながら、2023年12月期の期末配当予想につきましては、前述のとおり連結業績予想の算出、予測を行うことが困難な状況であることに伴い、一旦、未定とさせていただくことといたしました。今後、業績予想が策定可能となり次第、あわせて公表いたします。

株主の皆様、お取引先をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

以 上